

クリントートFXの広幅規格 実用性確認試験

JAふらの

加藤 敏昭



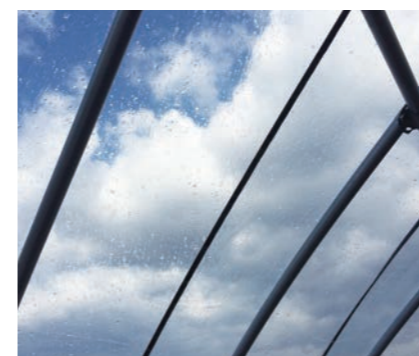
1. 試験品 (FX) 外観



2. 慣行品 (DX) 外観



3. 試験品 (FX)



4. 慣行品 (DX)



5. 試験品 (FX)



6. 慣行品 (DX)

試験目的

クリントートFXの広幅規格実用性確認試験

試験作物 及び品種

玉ねぎ育苗

試験資材 及び数量(規格)

クリントートFX(0.1mm×1080cm×73m) 1枚

慣行資材

クリントートFX(幅継)、クリントートDX

栽培方法

播種日

慣行区:2月15日

試験区:2月15日

資材使用期間

10月12日～8月25日

試験区面積

468㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品に比べ、特に問題なかった。クリントートDXに比べても硬いという印象はなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

作物の生育・収量について特に慣行品に比べ問題なかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 温度管理については変わらないが、ぼた落ちが少なく安心して育苗管理できた。

【問題点】: 特になし。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品に比べても特に問題なかった。

(5)促成・抑制効果について

同じ温度管理であり、特に生育状況は変わらず保温効果も同等であると感じている。

(6)保温効果について

特になし。

モニター感想

クリントートDXに比べ、透明感が高くハウス内に入ったときにもやっていない。また、水滴が少なくすっきりした感じがある。

クリントートFXの2枚継に比べぼた落ちが少なく、安心して育苗管理ができた。

クリントートFXは透明感が高く、外から見てもハウス内部が見える。クリントートDXと水滴のつき方も違い、使用しやすかった。

今後の更新については、クリントートFXの広幅品を使用したいと考えている。

JA担当者の感想(富良野支所 生産資材課 原口主任)

当地区は玉ねぎの育苗ハウスが多く、クリントートFXで1080cm幅までの規格が出来たことは生産者にとってとてもプラスになると考える。

折り目がないためぼた落ちが少なく良い商品だと考えるため、今後積極的に推進していきたいと考えている。

今後の使用について

継続して使用したい。

クリントートFXの広幅が出たことはとても望ましい。今後も徐々に使用していきたい。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリントート広幅

5 クリントート

6 マルチ

7 不織布

8 育苗資材

9 酪農資材

10 その他